

浜の活力再生プラン
令和6～10年度
第3期

1 地域水産業再生委員会 (ID: 1130005)

組織名	香川県地域水産業再生委員会 高松地区部会
代表者名	部会長 高野 勇 (直島漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の 構成員	屋島漁業協同組合、高松市東部漁業協同組合、高松市瀬戸内漁業協同組合、東瀬戸漁業協同組合、香西漁業協同組合、下笠居漁業協同組合、直島漁業協同組合 高松市、直島町 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 香川県高松地域 (高松市 (庵治町、牟礼町を除く)、直島町)</p> <p>[漁業の種類] 魚類養殖業 (8経営体)、ノリ養殖業 (21経営体)、かき養殖業 (1経営体)、小型機船底びき網漁業 (86経営体)、さわら流しさし網漁業 (11経営体)、敷網漁業 (36経営体)、建網漁業 (39経営体) 計202経営体 (令和4年度時点)</p>
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当地域は、香川県の中央部に位置し、女木島、男木島、直島諸島などの島々を擁して、複雑な海底地形、潮流により好漁場を形成している。

漁業種類については、ブリ類を中心とした魚類養殖業及びノリ養殖業が漁業生産の中心となっているほか、小型機船底びき網、敷網、さわら流しさし網、建網漁業などの漁業が営まれている。

[漁船漁業]

域内に位置する高松漁港には、県内で最も多い登録漁船数があり、漁獲された水産物は、同じく域内に位置する中央卸売市場に直接出荷されることが多い。中央卸売市場は、県庁所在地である高松市の人口集積地に近接しており、魚の流通には好立地となっている。

しかしながら、近年の漁業コストの上昇、漁獲量の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

また、大半の漁業者は資源管理には取り組んでいるものの、漁業共済制度などの漁業収入安定対策事業を活用している者が少なく、漁業収入は不安定な状況にある。

[養殖業]

本県において世界で初めて成功したハマチ養殖が、基幹産業となっており、当地域でも直島町では、漁場改善及び品質管理を徹底した「なおしまハマチ」というブランド魚の生産に取り組んでいる。

しかし、魚類養殖業においても、魚価の低迷、人材不足や養殖餌飼料価格の高騰などの要

困により、養殖業経営を行うのは厳しい状況にあり、経営体数も減少している。

また、ノリ養殖業については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、クロダイ等の魚類や鳥類による食害、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの上昇により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

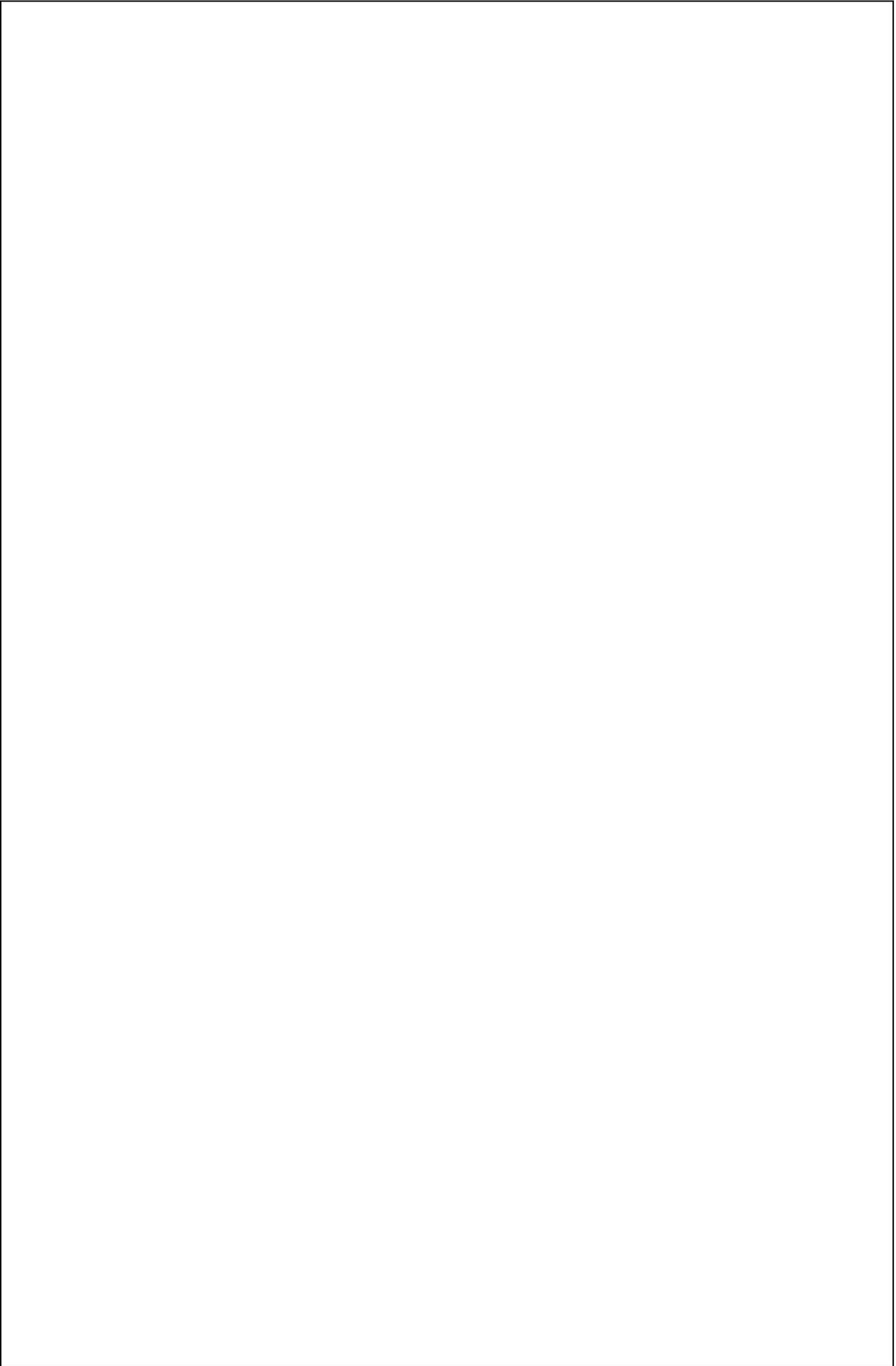
(2) その他の関連する現状等

- ・直島を訪問する観光客に新鮮な魚料理を提供する飲食店が少ない。
- ・香川の伝統的な鮮魚の行商人である『いただきさん』が高松市で魚を売りながら、調理方法や食べ方のアドバイス、旬の魚情報等を教えてくれており、水産物の消費拡大や食育の一翼を担っているが、大型スーパーの増加、高齢化により、その数が急速に減少している。
- ・高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接している。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

○漁業収入の向上

(第1～2期で取組効果があり、継続・拡大する取組)

・魚類養殖の振興

本地区養殖水産物の更なる消費拡大とブランド化を促進するため、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動と消費者の知名度向上に努める。オリーブハマチ以外のブランド魚はまだ認知度が低く、知名度向上に取り組む。

・ノリ養殖の振興

栄養塩低下等による色落ちや食害が増加傾向にあり、漁場条件に合わせた養殖技術の開発等に取り組むとともに、協業化について検討を進め、品質向上や生産の安定化と経営の効率化を促進する。

・収入の安定化

燃油の高騰、漁場資源の減少等漁業経営を取り巻く状況が悪化するとともに、漁業就業者の高齢化、漁業生産構造の脆弱化が進行しているため漁業共済、積み立てぷらす等の仕組み

を活用し、収入の安定化に引き続き取り組む。

- ・ イベントを活用した販売促進

直島や男木島は現代アートの聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島や漁業者による民宿経営が行われている男木島の漁村で、古民家を利用した飲食施設や民泊施設により、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供する。また、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、県内水産物の PR を促進する。

- ・ 浜の多面的機能発揮

漁業者等が行う水産業・漁村のもつ多面的機能発揮に資する活動や稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を通して、環境・生体系の維持・回復等に努め、漁村が有する多面的な機能の発揮に努める。

- ・ 漁港機能強化等の施設整備

地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながらクレーン設備等を導入し、漁業生産の省力化を図るとともに、漁業活動に必要な施設整備を行っていく。

(第 1～2 期の取組内容を変更し、継続する取組)

- ・ 地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進

人口集積地やイベント開催地が近接している好立地を生かして、費用対効果の高いイベントを開催し、新たな顧客の開拓を図る。

(新規の取組)

- ・ カキ養殖の振興

夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興するため、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして高付加価値化に努めるとともに、販路の拡大と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。

- ・ 新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進

海洋環境や水産資源量の変化に対応し、新たな魚種を獲ることで漁業収入の向上を図るために、新たな魚種に対応した漁網等の導入の促進を図る。

○ 漁業コスト削減

(第 1～2 期で取組効果があり、継続する取組)

- ・ 省燃油対策の継続

燃料費の削減を図るため、減速航走や船底清掃等の省燃油操業を継続的に取り組むよう努める。

(第 1～2 期の取組内容を変更し、継続する取組)

- ・ ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進

1 経営体あたりの施設整備費の削減、人員確保の効率化を図るため、ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化の促進に努める。

(新規の取組)

- ・魚箱の共同購入による仕入れコストの削減

ALPS 処理水海洋放出の影響を乗り越えるための漁業者支援事業の一環として、持続的な漁家経営を図るために、魚箱の共同購入により、仕入れコストを削減し、資材費等のコスト削減を促進する。

- ・省エネ機器の導入促進

燃料費や光熱費の削減を図るため、省エネ機器（漁船用エンジン・冷凍機等）の導入を促進し、光熱費等のコスト削減を促進する。

○漁村活性化の取組

- ・漁業担い手確保

漁業の経験や知識のない者であっても、安心して漁業就業できるような体制づくりのために、就労サポート制度の情報提供等に努め、新規就業者の増加が図られるように努める。

- ・その他の取組

水産物の PR 活動、浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、浜に関心を持ってもらう機会を創出し、漁村活性化に努める。

(3) 資源管理にかかる取組

香川県資源管理方針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理協定に基づき、漁獲努力量の削減に努め、資源管理目標を設定し、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行う。また、協定の有効性について、香川県資源管理協議会が評価・検証するとともに、認定した協定について、県水産課HPにて公表する。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（令和6年度）所得向上率（基準年比）8.87%

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組

○魚類養殖の振興

- ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。
- ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰯」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。

○ノリ養殖の振興

- ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築するとともに、魚類の食害対策として実用化された防除網の普及を推進し、収益向上を目指す。

- ・ノリ養殖経営体は、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。
 - ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。
 - ・比較的設備投資が少なく新規での参入が容易なアオノリ養殖について、県水試、県漁連と協力して県内での採苗による種網確保に取り組むとともに、安定生産と単価向上に取り組む。
- カキ養殖の振興
- ・漁船漁業、養殖業ともに年による豊凶のリスクがあることから、漁業の多角化経営の一環として、カキ養殖の兼業を推進する。また、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興し、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。
- イベントを活用した販売促進
- ・瀬戸内国際芸術祭を契機に、直島は現代アートの聖地として国内外から多くの観光客が訪れ、芸術作品だけではなく瀬戸内の新鮮な水産物を含む『食』への期待は高いことから、古民家を利用した飲食施設や民泊施設により、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供する。また、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、県内水産物の PR を促進し、販路の拡大を図る。
- 地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進
- ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。
- 浜の多面的機能発揮
- ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。
 - ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。
- 新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進
- ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。
- 収入の安定化
- ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
- 漁港機能強化等の施設整備
- ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ加工段階での品質を向上し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用を検討する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
<p>漁村活性化のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業担い手対策 <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

2年目（令和7年度）所得向上率（基準年比）9.32%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○魚類養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰯」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され
---------------------	--

	<p>高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。</p> <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築するとともに、魚類の食害対策として実用化された防除網の普及を推進し、収益向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、県内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○カキ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁業の多角化経営の一環として、カキ養殖の兼業を推進する。また、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興し、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 <p>○イベントを活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」で現代アート聖地として国内外から多くの観光客が直島に訪れることが期待できることから、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、食材提供やメニュー開発等により、地元水産物の PR を促進し、販路の拡大を図る。 <p>○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 <p>○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を
--	--

	<p>目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○漁港機能強化等の施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ加工段階での品質を向上し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用を検討する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
<p>漁村活性化のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業担い手対策 <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県]

3年目（令和8年度）所得向上率（基準年比）9.78%

漁業収入向上のための取組

○魚類養殖の振興

- ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。
- ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰯」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。

○ノリ養殖の振興

- ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。
また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築するとともに、魚類の食害対策として実用化された防除網の普及を推進し、収益向上を目指す。
- ・ノリ養殖経営体は、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。
- ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。
- ・ノリ養殖経営体は、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、県内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。
- ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。

○カキ養殖の振興

- ・引き続き、漁業の多角化経営の一環として、カキ養殖の兼業を推進する。また、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興し、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。

○イベントを活用した販売促進

- ・前年に開催された「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁村地域にも観光客を呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供し、販路の拡大を図る。

○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進

- ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と

	<p>人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。</p> <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 <p>○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ふらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ加工段階での品質を向上し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用に向けたマッチング活動を実施する。 <p>○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 <p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
<p>漁村活性化のための取組</p>	<p>○漁業担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 <p>○その他の取組</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

4 年目（令和 9 年度）所得向上率（基準年比）10.24%

漁業収入向上のための取組	<p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰺」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg 以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰺」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築するとともに、魚類の食害対策として実用化された防除網の普及を推進し、収益向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、アオノリ適地選定試験結果に基づき、アオノリの養殖を開始する。また東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産の実施を検討する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ○カキ養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁業の多角化経営の一環として、カキ養殖の兼業を推進する。また、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興し、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ○イベントを活用した販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁村地域にも観光客を呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供し、販路の拡大を図る。 ○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○漁港機能強化等の施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ加工段階での品質を向上し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用に向けたマッチング活動を実施する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、

	<p>仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 <p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	<p>○漁業担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 <p>○その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目（令和10年度）所得向上率（基準年比）10.70%

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰯」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築するとともに、魚類の食害対策として実用化された防除網の普及を推進し、収益向上を目指す。
--------------	---

- ・ノリ養殖経営体は、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。
- ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。
- ・ノリ養殖経営体は、事業化したアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また東讃地区が提供するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産を実施する。
- ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。
- カキ養殖の振興
 - ・引き続き、漁業の多角化経営の一環として、カキ養殖の兼業を推進する。また、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興し、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。
- イベントを活用した販売促進
 - ・令和 10 年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」で現代アート聖地として国内外から多くの観光客が直島を訪れることが期待できることから、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、食材提供やメニュー開発等により、地元水産物の PR を促進し、販路の拡大を図る。
- 地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進
 - ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。
- 浜の多面的機能発揮
 - ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。
 - ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。
- 新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進
 - ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。
- 収入の安定化
 - ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
- 漁港機能強化等の施設整備
 - ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効

	率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・ 競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ加工段階での品質を向上し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・ 地区内のノリ養殖経営体は、協業化や設備の共同利用に取り組み、高漁業コストの削減に努める。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・ 漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業担い手対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協及び漁業者は、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

(5) 関係機関との連携

<ul style="list-style-type: none"> ○香川県水産試験場との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・ 当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。 ○他地域との連携
--

・他地域の漁協や県漁連とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の成果を評価・分析するため、年に1回達成状況について、委員会事務局内で、自己評価案の作成を行い、地区部会の中で自己評価案について、構成員に審議・決定いただき、次年度の取組の改善等につなげる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

クロノリ 1 柵当たりの生産枚数の増加	基準年	平成 30～令和 4 年度 5 ヶ年平均 4,002 枚/柵
	目標年	令和 6～10 年度 5 ヶ年平均 4,062 枚/柵
新規漁業就業者数の増加	基準年	平成 30～令和 4 年度 5 ヶ年平均 新規漁業就業者数 8.6 人/年
	目標年	令和 6～10 年度 5 ヶ年平均 新規漁業就業者数 9.6 人/年

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

○漁業所得向上のサブ指標として、地区の主力養殖業であるノリ養殖において、食害対策を講じることで、ノリの安定生産・生産量の増大を図るために、クロノリ 1 柵当たりの生産枚数を指標とした。基準年の算出方法は、ノリ共販結果（平成 30 年～令和 4 年）で得た、地区毎の生産枚数と柵数を元に過去 5 年間に於ける 1 柵当たりのクロノリ 1 柵当たりの生産枚数の平均値（4002 枚/柵）とした。

○目標年の設定は、浜の活力再生プランのノリの色落ち・食害対策の海底耕うんや防除網等の取組を実施することにより、下記のとおり、地区内のクロノリ1柵当たりの生産枚数の年間向上率0.5%を設定し、プラン期間内平均値を基準より5%向上させ、経営体数が減少している中で、品質の良いノリを生産し現状維持を目指す。

基準年：H30～R4 年度地区内クロノリ1柵当たりの生産枚数の平均値（4,002枚/柵）

クロノリ1柵当たりの生産枚数、向上割合

	枚数/柵	対基準年向上率(%)
1年目(6年度)	4,022	0.5
2年目(7年度)	4,042	1.0
3年目(8年度)	4,062	1.5
4年目(9年度)	4,082	2.0
5年目(10年度)	4,102	2.5
5ヵ年平均	4,062	1.5

○漁村活性化の成果指標として、当地区における新規就業者数を指標とした。過去の新規漁業就業者数は、平成30年度：14人、令和元年度：11人、令和2年度：4人、令和3年度：9人、令和4年度：5人（5年累計43人）となっている。香川漁業塾といった就労サポート制度促進等を通して、新規就業者を増やすことで、毎年度9人以上の新規就業者の増員（累計48人）を図ることを目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
・経営体人材育成総合支援事業 [国]	意欲のある新規漁業就業者の安定的な確保・定着を図るため、漁業の将来を担う人材を育成支援し、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]	燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・水産多面的機能発揮対策事業 [国]	沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・浜の活力再生交付金（水産関係地方公共団体交付金等実施要領に係るもの） [国]	水産資源の持続的な利用・管理の推進、水産業経営の強化及び漁港機能の強化等を行うことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国]	長期にわたるALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるため、海浜清掃、省燃油活動、魚箱の共同購入、省エネ機器の導入等、漁業者の創意工夫による取組を行うことにより、浜

<ul style="list-style-type: none"> ・香川県水産振興総合対策事業 [県] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] 	<p>の活力再生プランで目指す漁業者の支出の削減に寄与する。</p> <p>水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p> <p>養殖用餌料として従来活用されていない未利用魚を有効活用し、生餌を低価格で安定供給することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p> <p>ノリの色落ち・食害対策等による生産安定化や新たな藻類養殖の普及に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
--	---